学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2022年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスマナーⅣ(CM)		TCM214
講義名（コード）	TCM_ビジネスマナーⅣ		TCM214
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	池内　美恵子	時間数	30
成績評価教員	池内　美恵子	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

到達目標・目的	・人間力における、社会人教育分野の学びの中で、学生が自己理解、管理能力向上の基礎を理解しビジネス実務務マナー知識の習得、及び演習を通してビジネス社会の基本ルールを理解できるようになる。
全体の内容と概要	・オフィスの常識と心構え「社会人基礎力」「ヒューマンスキル」を学ぶ。・職場における基本的な知識を学び、ビジネスパーソンとしてのマナーや実践力を身につける。・自己の考えを表現する力や、他者とのコミュニケーション能力を育てる。
授業時間外の学修	・復習課題としてレポートの提出を求めることがあります。
履修上の注意事項等	・マナーの授業であると心得、授業中の態度及び言葉遣い等に気をつけること。

3.本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	・後期オリエンテーション	・後期オリエンテーション ・訪問のマナー、来客対応の基本①（訪問のマナー）
2	・ビジネスマナーの基本を理解する⑤	・訪問のマナー、来客対応の基本② （来客対応）
3	・ビジネスマナーの基本を理解する⑥	・訪問のマナー、来客対応の基本③ （席順-色々な場所での席順）
4	・ビジネスマナーの基本を理解する⑦	・社会人としての付き合い① （冠婚葬祭の知識とマナー）
5	・ビジネスマナーの基本を理解する⑧	・社会人としての付き合い② （慶事のマナー、祝儀袋、不祝儀袋）
6	・ビジネスマナーの基本を理解する⑨	・社会人としての付き合い③ （弔事のマナー）
7	・ビジネスマナーの基本を理解する⑩	・社会人としての付き合い④ （中元・歳暮、お見舞い）
8	・ビジネスマナーの基本を理解する⑪	・社会人としての付き合い⑤ （接待、食事マナー）
9	・ビジネスマナーの基本を理解する⑫	・ビジネス文書の基礎知識① （企業の文書主義とは、書き方の基本原則）
10	・ビジネスマナーの基本を理解する⑫	・ビジネス文書の基礎知識② （社外文書の例）
11	・ビジネスマナーの基本を理解する⑫	・ビジネス文書の基礎知識③ （社外文書の例）
12	・ビジネスマナーの基本を理解する⑬	・ビジネス文書の基礎知識④ （文書の取り扱い、Eメールの取り扱い、FAXの取扱い）
13	・ビジネスマナーの基本を理解する⑭	・単元（ビジネスマナーの基本）についての総括
14	・後期期末試験	後期期末試験の実施
15	・期末試験FD	試験内容のフィードバック（総括）

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	・ISBN：9784898260678書籍名／出版社：ビジネスマナー／早稲田教育出版
参考文献・資料等	ビジネスマナー基礎実習新版/早稲田教育出版ビジネス実務マナー検定受験3級ガイド
備考	